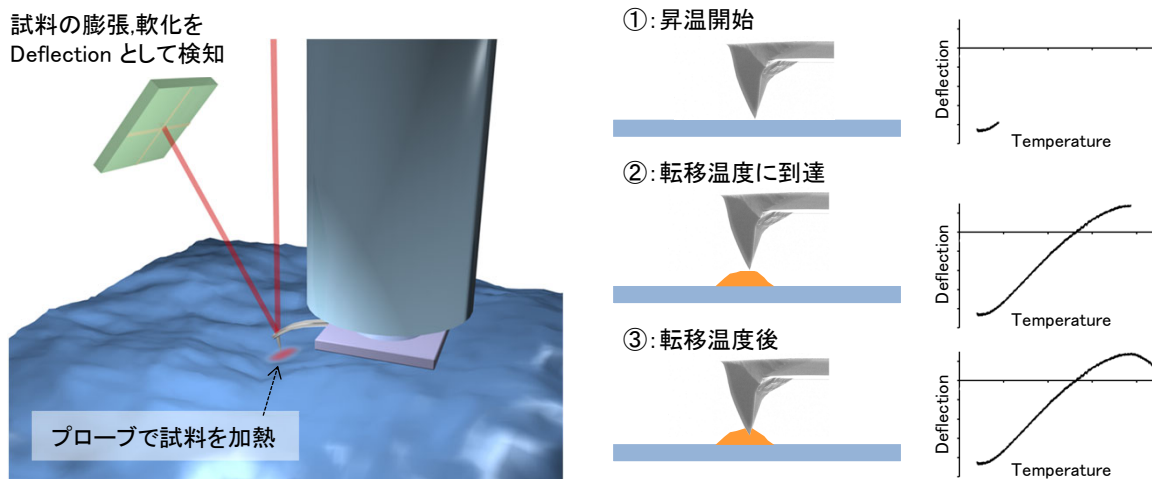


nanoTAによる局所熱特性評価

局所熱分析システム (Nanoscale Thermal Analysis)

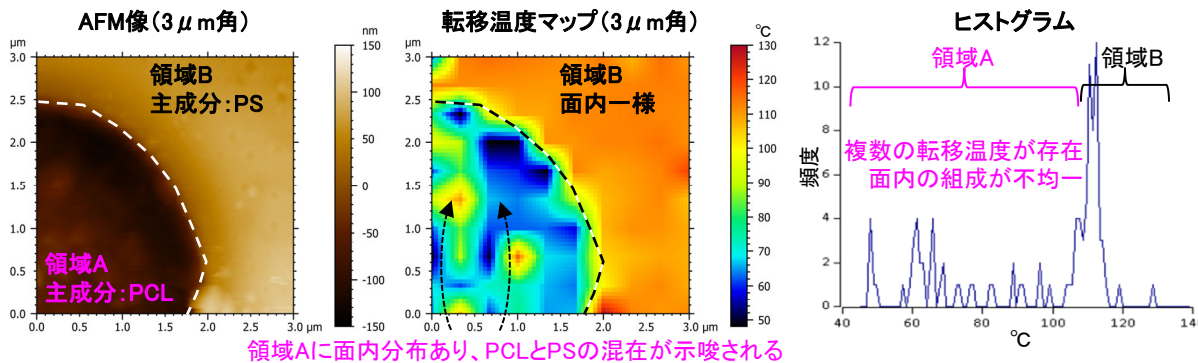
nanoTA 測定原理

試料表面の局所における、熱特性(ガラス転移,軟化温度,融解温度,膨張傾向)を測定する熱分析法です。試料表面に接地するプローブを加熱し、試料表面の温度を変化させます。図中では①昇温時試料膨張がはじまり、②転移温度に到達するまでDeflectionが変化、③転移温度後変化した試料へプローブの侵入を示しております。温度変化時のDeflectionをモニタリングし、測定点ごとに転移温度をマッピングデータを取得することも可能です。

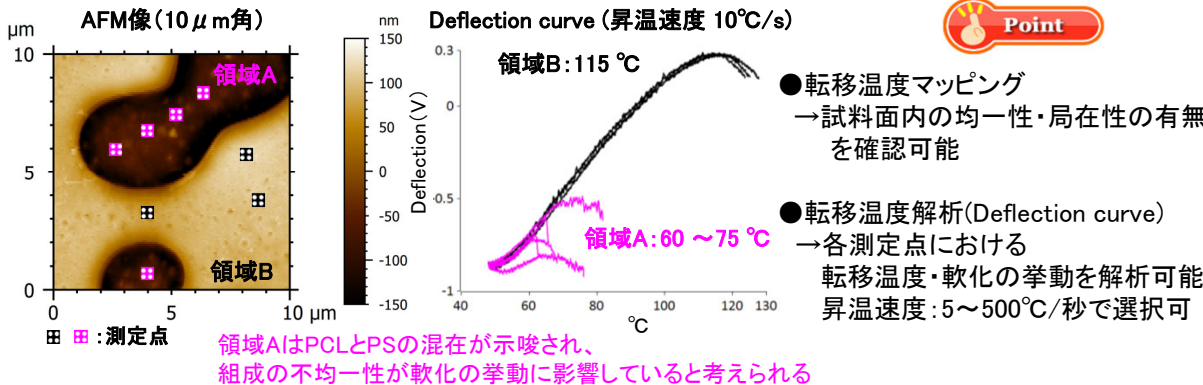


分析事例

■ポリカプロラクトン(PCL)/ポリスチレン(PS)のコンポジット薄膜の転移温度マッピング評価



■PS/PCLコンポジット薄膜の転移温度解析



分析サービスで、あなたの研究開発を強力サポート!